

関係者別の成果のハイライト

FIB-4 を利用した代謝機能障害に関連する脂肪性肝疾患の早期発見

 患者	認識の向上	FIB-4 を用いたスクリーニングにより、14.5%（39,020 人中 5662 人）の患者が、将来的な肝疾患発症が中から高リスクであると新規に特定されました。
	健康状態の向上	中から高リスクとされた患者の 64.7% は、6 カ月間隔（14.7%）または 1 年間隔（50%）の追跡調査を受けています。患者からは、満足度の向上、入院期間の短縮、欠勤日の減少が報告されています。
 臨床医	信頼性の向上	プライマリケア担当医を対象とした臨床調査（600 人中 180 人が回答）では、肝疾患管理での臨床意思決定における FIB-4 への高い信頼性が示されています。 <ul style="list-style-type: none">● 回答した臨床医の 64% は、FIB-4 が進行性線維症を正確に特定できると回答しました。● 回答した内科医の 74% は、FIB-4 が進行性線維症の特定に有用であり、特にリソースが限られている状況で役に立つとしています。● 回答した臨床医の 71% は、FIB-4 が肝疾患の状態モニタリングにとって好ましいメソッドだと考えていました。
	医療制度 / 病院経営	来院数の増加
 医療費	医療費の削減	中から高リスクの患者に適用されたスクリーニング関連の直接コスト（FibroScan 対 FIB-4）として、年間コストが 930 万 RM 削減されました。ここには FibroScan 利用可能施設の少なさに付随する患者レベルの交通費負担は含まれていません。